

平成25年12月4日
 東日本高速道路株式会社

横浜環状南線横浜市南部地域猛禽類調査検討会 の中間とりまとめ(その14)の報告について

NEXCO東日本 横浜工事事務所(神奈川県横浜市)は、平成25年11月27日に「第18回横浜市南部地域猛禽類調査検討会」を開催し、平成25年の調査結果を含めた中間とりまとめを行いましたので、お知らせします。

この検討会ならびに中間取りまとめの報告は、旧日本道路公団時代の横浜工事事務所に、横浜市南部地域で希少野生動物種に位置付けられているオオタカの生息に関する情報提供があり、平成12年2月よりオオタカに関する調査を行うとともに、同年8月に「横浜市南部地域猛禽類調査検討会」を設置してから毎年行っています。

1. 路線概要

横浜環状南線(以下「横環南」)は「首都圏中央連絡自動車道」の一部をなすとともに、神奈川県や横浜市の総合計画などにおいても重要な道路として位置付けられています。

また、横環南は横浜の都心部から半径約10～15kmに位置し、横浜市郊外の各区の相互連絡を容易にし、市の一体化を図るとともに、横浜中心市街地の交通混雑の緩和を図ること等を目的に計画された「横浜環状道路」の一部をなす重要な自動車専用道路です。



首都圏幹線道路網図

起点～終点	横浜市金沢区釜利谷町～ 横浜市戸塚区汲沢町
設計速度	80km/h
延長	約 8.9 km (横浜市域約 8.4 km 鎌倉市域約 0.5 km)



高速道路網計画図

「横浜市内の高速道路」横浜市 Homepage

(<http://www.city.yokohama.lg.jp/>)(平成 25 年 11 月現在)

2. 検討会の概要

(1) 概要

神奈川県より横浜市南部地域におけるオオタカの生息に関する情報提供があり、事業者として、今後の横環南の本格的な工事に向けより慎重を期すために、平成12年2月から調査を開始しました。

また、平成12年8月に「横浜市南部地域猛禽類調査検討会」を設置して繁殖・生息状況調査等の調査の結果を踏まえ、保全対策について検討を行っています。

表 1-1 検討会名簿(平成25年11月現在)

	氏名	所属
委員長	柳澤 紀夫	(公財)日本鳥類保護連盟 理事
委員	葉山 嘉一	日本大学大学院 准教授
	川手 隆生	神奈川県野生生物研究会 副代表
	森 勝彦	国土交通省横浜国道事務所長
	田仲 博幸	NEXCO東日本 横浜工事事務所長

(2) 検討内容

第18回検討会を平成25年11月27日に開催し、以下の検討を行いました。

- ・ 平成25年の繁殖・生息状況調査等の結果について

3. 平成25年の繁殖・生息状況調査結果

(1) 現地調査の期間

表 2-1 調査の項目と期間

調査項目	調査期間	備考
繁殖・生息状況調査	3～8月	

(2) 繁殖・生息状況調査

これまで営巣が確認されていた巣(1箇所)において繁殖を確認しました。また、繁殖状況調査の結果から、今年は2羽の巣立ちを確認しました。

4. まとめ

今期も、繁殖・生息状況調査を行い、各調査結果の蓄積並びに解析を行いました。今後も道路と自然環境との調和に十分配慮した取り組みを進めるとともに、必要な調査及びこれまで検討してきた保全対策を実施していきます。

※オオタカの飛翔状況・営巣地等に関する情報の公表は、巣の位置が特定され、密猟のほか、カメラマン、観察者等多数の人々が営巣地の近辺に出入りを繰り返す、オオタカの繁殖を阻害する恐れがあるため差し控えさせていただきますので、ご理解・ご協力をお願いします。

以上